

K 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべてHBの黒鉛筆またはHBの黒のシャープペンシルで記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は8ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はⅠ～Ⅲとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に氏名のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しくずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I。次の文を読み、下記の設問A・Bに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

中国では13世紀以降、モンゴル人の支配が続いていたが、14世紀にはふたたび民族興亡の激動に直面することとなる。紙幣の乱発による物価の高騰やあいつぐ天災を背景として各地で困窮した民衆の反乱がおこるなか、弥勒仏を信仰する民間の宗教結社である（イ）教徒が1351年に紅巾の乱をおこし、これが元の支配を決定的に揺るがすこととなった。やがて紅巾軍の指導者として頭角をあらわした朱元璋が長江下流域の穀倉地帯をおさえ、1368年に現在の南京で皇帝の位につき明朝を建てた。朱元璋はその元号により「洪武帝」と呼ばれる。元はモンゴル高原にしりぞき漢民族による中国統一が復活した。

洪武帝は支配機構の整備に力を注ぎ、元の時代に政治の中枢にあった（ロ）とその長官の（ハ）を廃止し、六部を皇帝直属とするなど、皇帝中心の体制を敷いた。また、税制を厳格に実施するために農村部を（ニ）という連帯責任制度のもとに編成し、当番制によって租税台帳の整備を行わせた。

さらに洪武帝は1397年に民衆教化のための教訓を定め、国の安定化をはかった。また子を封じて諸王となし、各地に配置した。ただし、諸王はさほど実権を持たされておらず、次の建文帝の時代に諸王への抑圧が強まるに至って、これに対抗する燕王が挙兵し、南京を占領して帝位についた。

明は、東南沿海では民間人の海上交易を許さず、政府の管理する朝貢貿易を行った。東南方海上における（ホ）と呼ばれる海賊・商人集団の跳梁には以前から悩まされていたが、永楽帝の時代には、（ホ）の禁止を条件に日本からの朝貢を認め勘合貿易が始まった。その後も明を中心とする朝貢貿易は、様々な国との間でおこなわれ、例えば黎明朝と朝貢関係を結んだ。

国際的な商業の活発化は、中国国内の商工業の発展も促した。この発展にともない明の政府と結びついた商人が全国的に活動し富を築いた。大きな都市には同じ出身地の者や同業者の互助などを目的とした会館や（ヘ）がつくられた。こうした都市には科挙合格者や官僚経験者で出身地において勢力を持つ者も多く集まった。さらに明末文化の1つの流れとして科学技術への関心が高まり、様々な書物が編纂され、東アジア諸国に影響を与えた。

経済発展にともなう社会の変化や朝貢政策を超えた貿易の拡大に、明朝はしだいに対応できなくなっていった。15世紀のなかばには、西北モンゴルのオイラトがエセンの指揮のもと明との交易を求めて侵攻し、（ト）帝を捕えるという土木の変がおこった。エセンの死後、オイラトは分裂したが、16世紀にはタタールをひきいたアルタン＝ハンが力をつ

け明を圧迫した。

中国東北部で明の支配下にあったツングース系の女真族は、1616年に建州女真の一族長ヌルハチによって統一された。ヌルハチは軍事組織である（チ）の編制や満州文字の制作など独自の政策を進め明に対抗した。第2代の太宗ホンタイジは内モンゴルのタタール系の部族である（リ）を従え、1636年に国号を清と改めた。

明の万暦帝時代初期、官僚の最高位である首席内閣大学士として皇帝を補佐した（ヌ）の指導のもと行われた財政たて直しは、彼の死後なしくずしにされた。重税と飢饉のために各地でおきた反乱によって明朝は滅んだ。明の滅亡後、それに乗じて北京を占領した清は中国全土に支配をひろげた。第4代の康熙帝は呉三桂らによる乱を鎮圧し、清朝の基礎を固めた。康熙帝の時代にはロシアとの間で条約を結んで国境を定めた。

清朝は中国統治にあたって、¹⁰⁾明の制度をほぼ踏襲した。一方で、軍制では満州族固有の社会組織をもとにした軍事組織を採用したが、これを補うため漢人で組織する（ル）のほか、雍正帝の時代には皇帝直属の軍事・行政の諮問機関を設置した。また大規模な編纂事業をおこして学者を優遇したが、¹¹⁾反清的な言論に対しては厳しく弾圧した。¹²⁾¹³⁾

A. 文中の空所(イ)～(ル)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～13)にそれぞれ対応する次の問1～13に答えよ。

1. 洪武帝即位当時の南京の呼称を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 応天府 b. 建業 c. 建康 d. 臨安
2. 唐代なかばにはじまり明代後半まで実施された税法を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 一条鞭法 b. 均輸法 c. 地丁銀 d. 兩税法
3. 洪武帝の時代に整備されたこの租税台帳の名をしるせ。
4. 「父母に孝順なれ、長上を尊敬せよ」などの内容を含む、この教訓の名をしるせ。
5. 1399年に起きたこの事件の名をしるせ。
6. 明が政府の管理する朝貢貿易を推進する目的もあり実施した、この政策の名をしるせ。
7. この王朝があった地域を、次のa～dから1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 雲南 b. チベット c. ベトナム d. ミャンマー
8. こうした地方社会における実力者の呼び名を漢字2字でしるせ。

9. 明朝期でない時期に作成された書物を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 齊民要術 b. 天工開物 c. 農政全書 d. 本草綱目
10. このとき結ばれた条約の名を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. アイゲン条約 b. キャプタ条約
c. ネルチンスク条約 d. 北京条約
11. この諮問機関の名をしるせ。
12. 国家による編纂事業として清代に作成された書物を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
- a. 四庫全書 b. 資治通鑑 c. 四書大全 d. 儒林外史
13. 清は、禁書を行って思想統制をはかるほか、反清的とみなされる言論や表記を摘発し、その筆者を処罰するなどの弾圧を行った。この弾圧は何と呼ばれるか、その名をしるせ。

II. 次の文を読み、文中の下線部1)~12)にそれぞれ対応する下記の設問1~12に答えよ。

解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

南シナ海の島々をめぐるベトナムやフィリピンと中国、ガザ地区をめぐるイスラエルとパレスチナの対立など、最近の¹⁾ニュースをみても領土をめぐる争いは世界各地で²⁾頻発している。領土問題は、宗主国からの独立という側面もある一方、過度なナショナリズムの高揚を招き、ヘイトスピーチに³⁾現れるような差別的排他的世論を喚起し、戦争をも招く。それぞれの国の領土とは何か、国境とは何かを考えることは、みずからの国を知り、世界に視野を拓げる意味でも重要である。

例えば、ヨーロッパ地域の栄枯盛衰をみると領土と国境がめまぐるしく変わっていることがわかる。18世紀なかばのヨーロッパは、ポルトガル、スペイン、フランス、ハンガリー、ポーランド、プロイセンと軒並み王国が占める。その後、ナポレオン時代、第一次世界大戦、第二次世界大戦、⁴⁾東西冷戦時代を経て、現在ではヨーロッパ連合 (EU)による統合の時代を迎えている。しかし、それでも⁵⁾ウクライナへのロシアの介入に⁶⁾みられるように領土問題は現在も続いている。

一方、ヨーロッパ列強による北アメリカでの植民地争奪とアフリカ支配の結果、緯度経度による人工的な直線で形作られた国境も存在する。カナダでは16世紀なかばからフランス人が探検を進め、17世紀にはケベックが建設されるなど、フランス植民地が形成された。その後、カナダは1763年のパリ条約でフランスからイギリスへ譲渡されることが決められた。イギリスは⁷⁾1867年、自治領としてカナダを認めた。1842年に確定したカナダとアメリカの国境は、太平洋から⁸⁾五大湖近郊まで北緯49度に沿って直線的にひかれている。

19世紀末はヨーロッパ列強によるアフリカの植民地化が進められた時期でもあった。アフリカでは紀元前からのクシュ王国、それを滅ぼしたアクスム王国、西アフリカのガーナ王国といった王国が続いた。その後、マリ王国、ソンガイ王国などイスラーム教徒が支配層となる国が続いた歴史をもつ。それが19世紀末から一変する。ドイツのビスマルクは1884~85年にベルリン会議を開催、アフリカ分割の原則を策定した。20世紀初頭、独立を維持できたのは¹⁰⁾エチオピア帝国などに限られ、大部分の地域は列強によって分割統治された。現地の人々は¹¹⁾抵抗運動をおこない、やがてそれらは20世紀の民主主義運動や民族解放運動に¹²⁾結実していく。

1. ベトナムでは1802年に阮福暎が全土を統一し、阮朝を建てた。フランス本国から義勇兵を連れてきて、阮福暎を支援したフランス人宣教師の名をしるせ。
2. 国連総会でパレスチナ分割案が決議された年を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. 1947年 b. 1952年 c. 1956年 d. 1964年
3. 宗主国からの独立を目的とした、1821年から1829年までの戦争の結果、オスマン帝国の支配下からの独立を達成した国の名をしるせ。
4. プロイセンは1525年に公国となり、1701年に王国となった。この国でユンカーのもとで発達した、農業に関する経営形態の名をしるせ。
5. EUに2004年に加盟した国を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. スウェーデン b. ハンガリー c. ブルガリア d. ルーマニア
6. ウクライナは1922年、ロシア、ベラルーシなど4カ国でソヴィエト社会主義共和国連邦（ソ連）を結成した。残る1カ国を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. ウズベク b. キルギス c. ザカフカース d. トルクメン
7. 1763年のパリ条約で、フランスからイギリスに譲渡された、アフリカ西岸の地域の名をしるせ。
8. イギリスの自治領であった次の国 a～c のうち、カナダに次いで、もっとも古く自治領となったものを解答欄の i に、次に古いものを ii に、もっとも新しいものを iii に、年代順にマークせよ。
a. オーストラリア連邦 b. ニュージーランド c. 南アフリカ連邦
9. マリ王国、ソンガイ王国の経済・文化の中心となった都市の名をしるせ。
10. ベルリン会議はもともと、ヨーロッパのある国がアフリカのある地域を領有することに関する調停が主な目的であった。そのヨーロッパの国の名を解答欄の i に、アフリカの地域の名を解答欄の ii にそれぞれしるせ。
11. エチオピアに侵入したイタリアが1896年に敗北した戦いの場所を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。
a. アガディール b. アドワ c. キレナイカ d. トリポリ
12. 抵抗運動の1つとして、19世紀末に「エジプト人のためのエジプト」を掲げ、エジプト民族運動の出発点となった反乱がある。その指導者であった軍人の名をしるせ。

Ⅲ. 次の文を読み、下記の設問 A・B に答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

「指導者」の概念は時代とともに変化している。キリスト教、イスラーム教、仏教¹⁾といった宗教では、それぞれの教義をもとに「指導者」が位置づけられてきた。その後、ローマ帝国では皇帝、イスラーム帝国でもサファヴィー朝やムガル帝国²⁾で、王を意味するシャーといった指導者が現れ、中国ではそれぞれの王朝によって皇帝が指導者となった。皇帝や王の時代が長く続いたが、その中では宰相と呼ばれ、実質的な指導者となるものも出てきた。ヨーロッパにおける、スウェーデンのオクセンシェルナ、フランスのリシュリュー、マザランなどの宰相が名高い。

³⁾ さらに古代から、帝政ローマの軍人皇帝や古代中国の五代⁴⁾の武断政治などにみられるように軍人の指導者は多い。権力の掌握に軍事力が不可欠であったことの証明でもあるが、その傾向は現在でも続いており、核兵器⁵⁾の保有に代表される、軍事力を背景とした権力の争奪戦は後を絶たない。⁶⁾

「君主は（イ）の下僕」との言葉で有名なフリードリヒ2世に代表される、啓蒙専制君主時代から帝国主義の時代を経て、民主主義の導入が進むと、君主に代わり政治家が指導者としての地位を占めることとなる。しかし、その一方で、ヒトラー⁷⁾に代表される独裁的な指導者も出現した。第二次世界大戦後、世界規模での大戦はおこっていないが、様々な地域紛争は絶え間なく続いており、自国のみならず世界規模で指導者の資質と社会の成熟が問われることとなった。⁸⁾

現代において、先進諸国では、文民統制によって軍人の権限を縮小させ、選挙で選ばれた政治家が指導者となることが多いが、いまだクーデタ⁹⁾や、アメリカのイラク侵攻のように他国からの軍事介入によって政権が確立されるケースもある。孟子¹⁰⁾が説いた、武力によって民衆を治める「（ロ）」ではなく徳によって民衆を治める「王道」¹¹⁾の実現は21世紀になっても達成されていない。

A. 文中の空所(イ)・(ロ)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

B. 文中の下線部1)～11)にそれぞれ対応する次の問1～11に答えよ。

1. 紀元前5世紀頃、ガウタマ=シッダールタが始めた仏教は、苦の原因から離脱する正しい認識の方法である四諦とならび、正しい実践の方法を説いた。正しい知見など、その実践方法の総称を漢字3字でしるせ。

